

## Bio Trend Play Analysis

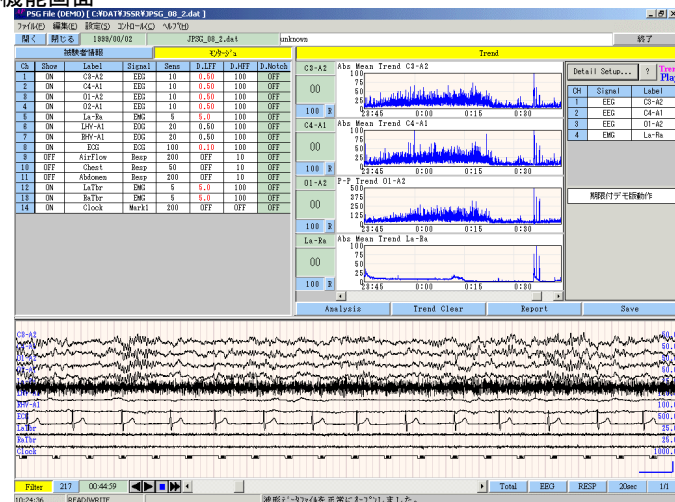


バイオトレンド再生解析プログラム(Bio Trend Play)は、判読リーダー(Bio Signal Viewer, AP-Viewer)にアドインして PSG フォーマットで収録保存されたデータを読み出し振幅情報(平均, 絶対値平均, P-P 値, 最小値, 最大値)を計測し、トレンド表示とレポート出力を行うプログラムです。結果は、レポート印刷及び CSV 形式のテキストファイルに保存して、他のアプリケーションで解析結果を扱うことができます。

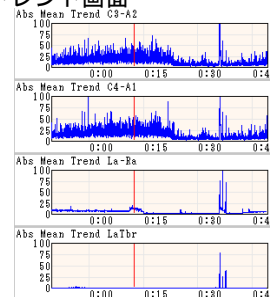
## 特徴

- Bio Signal Viewer, AP-Viewer のオプションソフトとして機能します。
- 最大 8 チャンネル、最大 2 4 時間まで解析・トレンド表示が可能です。
- 任意解析区間内のパラメータ(平均, 絶対値平均, 最大値, 最小値, 最大-最小)を計測します。
- 基準値を設定することで、相対値トレンドが可能です。
- トレンド内のカーソル指定点の値及び区間内の平均値計測を表示可能です。
- 波形表示と連動動作が可能です。
- レポート印刷が可能です。
- トレンド結果を CSV 形式ファイルで保存が可能です。
- グラフイメージをメタファイル形式でクリップボードへコピーできます。
- 操作ヘルプが充実しています。

## 機能画面



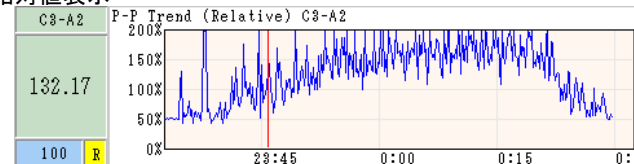
## トレンド画面



## カーソル値表示

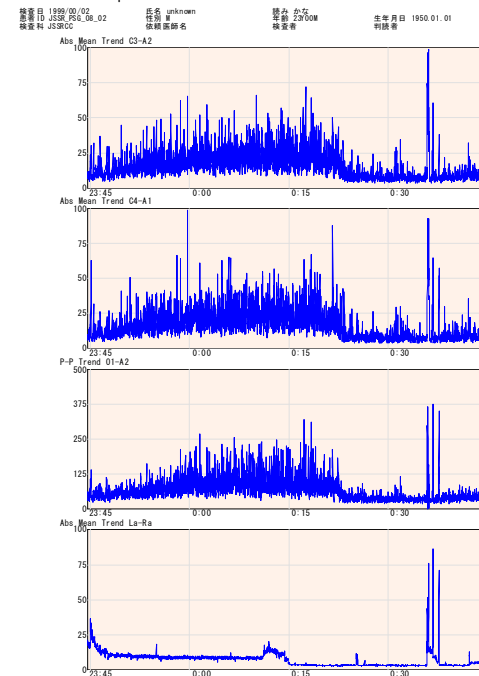
|        |
|--------|
| C3-A2  |
| 132.17 |
| 100    |
| R      |

## 相対値表示



## レポート印刷例

## Bio Trend Report



## 仕様

- 解析チャンネル数 最大 8 チャンネル
  - 解析トレンド時間 最大 2 4 時間、解析区間単位 0.2 秒~60 秒
  - 解析パラメータ 平均値、絶対値平均値、最大値、最小値、最大-最小値
  - 相対値機能 任意の相対値を設定することで可能
  - フィルター処理 LFF, HFF をチャンネル単位で処理可能
  - トレンド表示 解析パラメータのトレンド表示 任意表示区間可能
  - 波形表示との連動 可能
  - レポート印刷 可能
  - ファイル出力 トレンドデータの CSV 形式保存
  - クリップボードコピー トレンドイメージ、トレンドデータのテキスト形式でクリップボードへコピー
- このソフトウェアは、基礎医学研究用途にご使用ください。

## 動作環境

- パーソナルコンピュータ (PC/AT 互換機) Pentium 相当以上
- メモリ 512MB 以上 Windows7, 9 2GB 以上、ハードディスクの残り容量 5GB 以上
- 表示解像度 1024×768 以上 (解析時には 1280×1024 以上推奨)
- 対応 OS Windows2000, WindowsXp, Windows7, Windows8 (日本語環境)

開発元 (有) のるぷろライトシステムズ 問い合わせメール noru@fb3. so-net. ne. jp

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉 2-11-25 TEL/FAX 042-304-1951 できるだけメールでお問い合わせください。